



1. 2023年8月の発生動向(8月1日~8月31日)

1-1. 性感染症：県内の報告数は、次のとおりでした。

- ・性器クラミジア感染症 32人(7月は31人)
- ・性器ヘルペスウイルス感染症 13人(7月は1人)
- ・尖圭コンジローマ 11人(7月は5人)
- ・淋菌感染症 5人(7月は4人)
- ・尖圭コンジローマについては、過去5年間の同時期における県全体の定点当たり報告数と比較して、かなり多い状況です。

1-2. 薬剤耐性菌感染症：県内の報告数は、次のとおりでした。

- ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 1人(7月は0人)
- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 22人(7月は15人)
- ・薬剤耐性緑膿菌感染症 0人(7月は0人)
- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症については、過去5年間の同時期における県全体の定点当たり報告数と比較して、かなり多い状況です。

1-3. 全数把握対象疾患：各保健所管内の報告数は、次のとおりでした。

- ・結核 15人：青森市4人、弘前5人、八戸市1人、五所川原2人、上十三2人、むつ1人
- ・腸管出血性大腸菌感染症 1人：上十三1人
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 4人：青森市1人、上十三2人、むつ1人
- ・クリプトスポリジウム症 1人：上十三1人
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人：弘前1人
- ・後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) 1人：上十三1人
- ・梅毒 1人：上十三1人
- ・破傷風 1人：弘前1人
- ・百日咳 1人：むつ1人

2. 性感染症発生状況

2-1. 年齢区分別報告数

(人)

年齢	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0										
1~4										
5~9										
10~14										
15~19		1		1						2
20~24	5	5	3	2	2	1			10	8
25~29	4	4		3	1		3		8	7
30~34	2	3				1	1		3	4
35~39	1	3				1	1		2	4
40~44	1				2				3	
45~49		1								1
50~54	2		1		1				4	
55~59				1						1
60~64					1				1	
65~69										
70~			1	1	1				2	1
合計	15	17	5	8	8	3	5	0	33	28

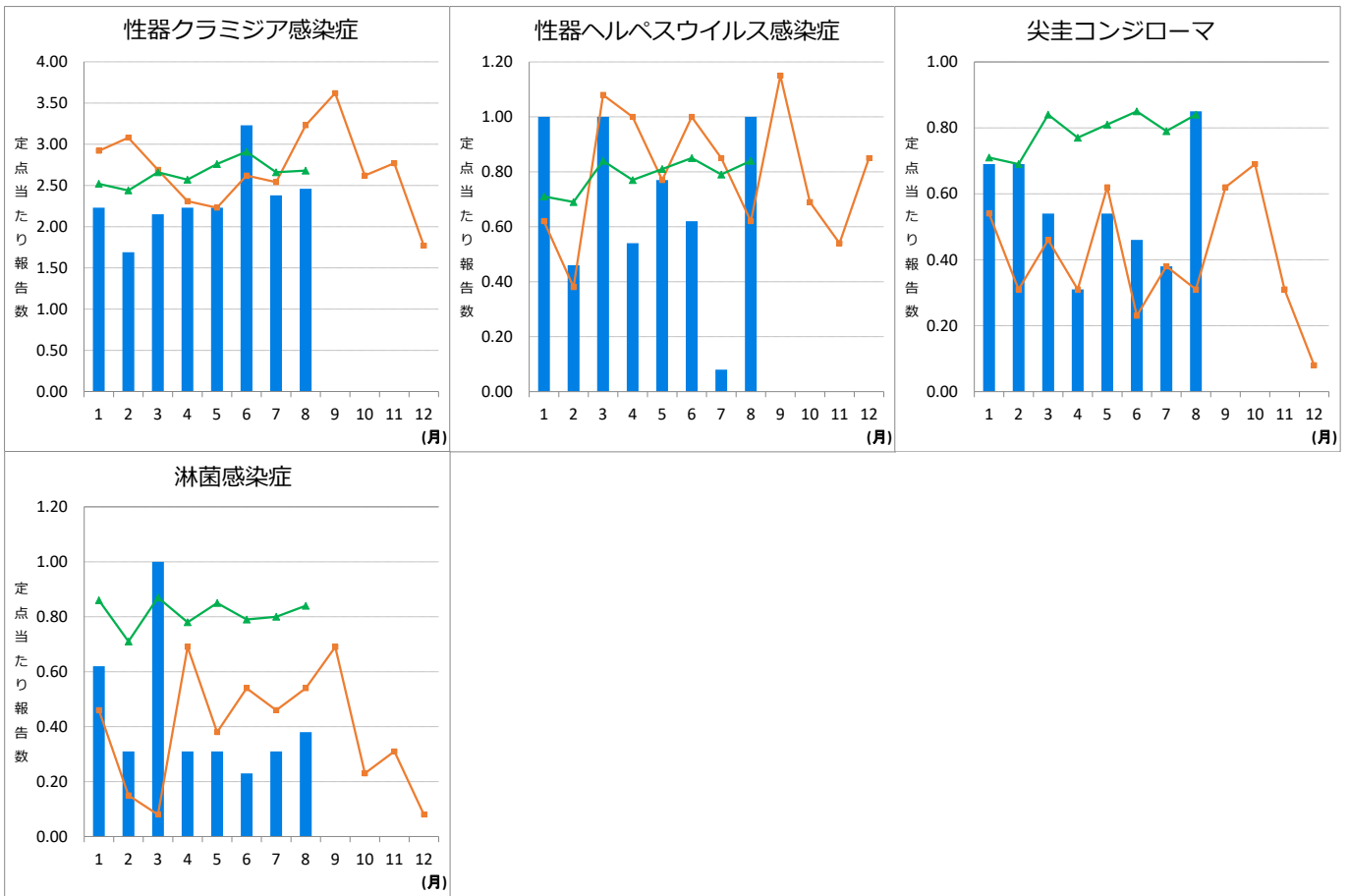
2-2.保健所管内別定点当たり報告数

(人/定点)

	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
東地方+青森市	0.67	3.00	0.33	0.33	0.33	-	0.67	-	2.00	3.33	5.33
弘前	-	1.33	-	0.33	0.33	-	-	-	0.33	1.67	2.00
三戸地方+八戸市	5.50	-	2.00	1.00	3.00	0.50	1.00	-	11.50	1.50	13.00
五所川原	-	-	-	-	-	0.50	-	-	0.00	0.50	0.50
上十三	1.00	2.00	-	2.00	-	-	0.50	-	1.50	4.00	5.50
むつ	-	-	-	-	-	1.00	-	-	0.00	1.00	1.00

2-3.青森県の定点当たり報告数推移

👉 **■**は2023年青森県、**■—■**は2022年青森県、**▲—▲**は2023年全国





### 3-3. 保健所管内別報告数

(人)

	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
東地方+青森市			3	2		
弘前			1	2		
三戸地方+八戸市	1		2	1		
五所川原			3	5		
上十三			1	2		
むつ						

### 3-4. 青森県の定点当たり報告数推移

👉 —■— は 2023 年青森県、 ■—■ は 2022 年青森県、 ▲—▲ は 2023 年全国

